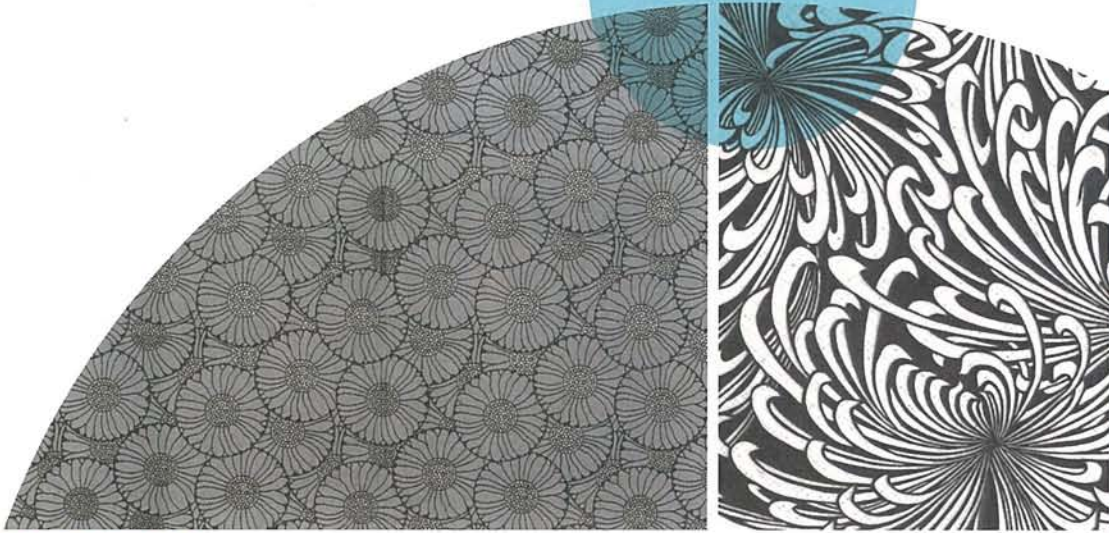


KATAGAMI

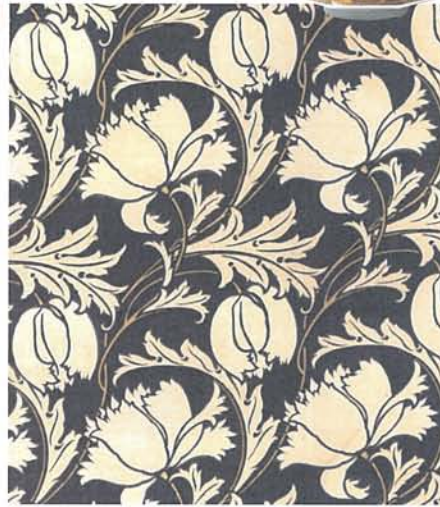
Style



PAPER STENCILS AND JAPONISME



世界が恋した
日本のデザイン
もうひとつのジャポニスム



The National Museum of Modern Art, Kyoto
京都国立近代美術館 [岡崎公園内] **2012年7月7日(土) - 8月19日(日)**
 開館時間：午前9時30分～午後5時、毎週金曜日と8月16日(木)は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで) 休館日：月曜日、但し7月16日と8月13日は開館
 主催：京都国立近代美術館、日本経済新聞社、京都新聞社 協力：全日本空輸 後援：京都府、京都市、京都商工会議所
 観覧料：[当日]一般 1,400円、大学生 1,000円、高校生 500円 [前売]一般 1,200円、大学生 800円、高校生 300円 [団体]一般 1,100円、大学生 700円、高校生 200円
*団体は20名以上 *本料金でコレクション・ギャラリーもご覧いただけます。 *中学生以下および障がい者手帳等をお持ちの方とその付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)。
 *前売券は、チケットぴあ(Pコード:765-093)、ローソン(Lコード:55887)、セブンイレブン(セブンコード:016031)、ファミリーマート、サークルKサンクス、CNプレイガイド、イープラスなどで販売。(販売期間:5月28日～7月6日)

世界が恋した日本のデザイン

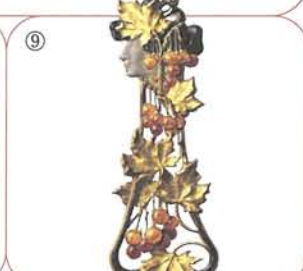
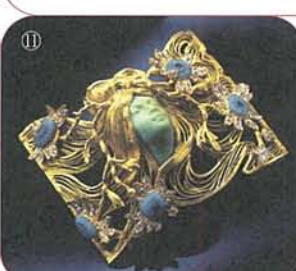
もうひとつのジャポニスム



「KATAGAMI/型紙」は、そこに見られる豊かで洗練されたデザインと高い技術によって、今日世界で注目を集めています。しかし型紙はすでに19世紀半ばから産業化が進む社会において、時代に即した新たな造形表現を求めていた欧米で積極的に収集され、多くの芸術家やデザイナーに影響を与えました。本展では、この型紙がアーツ・アンド・クラフツ運動をはじめとする美術・デザイン改革運動期の欧米でどのような役割を果たし、それがいかに現代に受け継がれているかを、国内外約70箇所から集めた様々なジャンルの作品約400点でご紹介します。

全5章からなる本展の第1章では、まずは武家階級の正装用として重用され、その後町人階級にも拡がり、江戸中期に最盛期を迎えた型紙とそれをういた型染の歴史をご覧ください。続く第2章ではイギリスとアメリカ、第3章ではフランスとベルギー、第4章ではドイツ、オランダそしてオーストリアでの型紙の受容とその展開をご紹介します。それぞれアーツ・アンド・クラフツ、アール・ヌーヴォーそしてユエグントシュティールと名称は異なりますが、各国の新たな美術やデザインを追い求めた運動の中で、型紙は受容され消化されていきました。端的には、自然のモチーフの大胆なデフォルメとパターン化や、具象的で曲線的な文様と抽象的で幾何学的なパターンの統合などに、その影響が見られます。しかしそれによって生み出された新たな造形は各地域によって様々です。「型紙」という切り口で、19世紀末から20世紀前半にいたる美術・デザインの展開を、世界的な視野から通覧できるのも、本展の大きな特徴と言えるでしょう。さらに最後の第5章では、過去における「型紙」の影響を時代に即して改案したり、「型紙」を再発見し、それを今のデザイン活動に活用するといった現在の動きをご紹介します。

当初は日本から海外に輸出された陶磁器などの包み紙に用いられていた「浮世絵」が、「UKIYO-E」として世界中に広まり、印象派をはじめとする新たな芸術動向誕生の起爆剤となったように、本来は染めの道具である「型紙」が、「KATAGAMI」として昔も今も世界の美術やデザインに与える新鮮な驚きを、本展でご覧下さい。



会期中展示替があります。●:7月7日(土)~7月29日(日)、●:7月31日(火)~8月19日(日)
 ①●浅葱麻地松皮菱葉模様素襖上下 江戸時代・19世紀 国立能楽堂◎ルイス・コンフォート・ティファニーおよび工房 ぶどう模様の箱(彫金とガラス) 1905-20年頃 メトロポリタン美術館 ◎The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY ③ルイス・コンフォート・ティファニーおよび工房 松葉模様の額(彫金とガラス) 1905-20年頃 メトロポリタン美術館 ◎The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY ④型紙梅に変わり芝菫綺 リバティ社 Liberty Art Fabrics ⑤ウジェーヌ・フィアール ボンボン容れ:さくらんぼ 1901年頃 ©RMN (Musée d'Orsay) / Droits réservés / distributed by AMF ⑥ドーム兄弟、ルイ・マジョレル ランプ(たんぼ) 1902年頃 北澤美術館◎モリス・ドニ 《ベロース・ギレックの競艇》 1892年 オルセー美術館(カンパベル美術館に寄託) ©RMN (Musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF ◎ルネ・ラリック 花器:バック 1912年 箱根ラリック美術館◎ルネ・ラリック ペンダント:女の横顔とプラタナス 1901-02年頃 箱根ラリック美術館◎ルネ・ラリック 香水瓶(赤い珊瑚) (フォルヴル社) 1925年 飛騨高山美術館◎ルネ・ラリック チョーカーヘッド:流れる髪的女人 1898-1900年頃 箱根ラリック美術館◎アーデルベルト・ニーマイヤー 花器 1905年 ニンフェンブルク磁器製作所◎ヘルマン・グラートル 壁付水盤 1899-1900年頃 ハンブルク工芸博物館◎コロマン・モーザー アームチェア 1903年頃 豊田市美術館 撮影者:林達雄
 表面(左上から順に) ◎コロマン・モーザー テキスタイル(神託の花) 1901年 バックハウゼン・インテリア・テキスタイル社―バックハウゼン資料室、ウィーン ◎Backhausen Interior Textiles GmbH - Archiv Backhausen Vienna◎型紙乱菊 リンデン博物館、シュトゥットガルト、州立民族博物館 ◎Linden-Museum Stuttgart. Foto: A. Dreyer ◎アルフォンス・ミュシャ ポスター(ジョブ) 1896/1897年 サントリ―ポスターコレクション(大阪市立近代美術館建設準備室寄託)/堺市◎型紙菊唐草 1856(安政3)年 東京藝術大学◎型紙 紗綾 1751(寛延4)年 鈴鹿市◎エミール・ガレ 飾瓶:織形花序 1896-98年 松江北堀美術館◎型紙 割付て柄 1757(宝暦7)年 東京藝術大学◎チャールズ・ヴォイジー(?) 装飾用フアブリック:芥子 1894年頃 ハンブルク工芸博物館◎コロマン・モーザー パン籠 1910年 アーゼンバウム・コレクション ◎Asenbaum Photo Archive◎型紙 鉄線に菊唐草 1747(延享4)年 東京藝術大学◎エミール・ガレ 小鉢:唐草 1890-97年 鳳壁美術館◎ハインリヒ・フォークラー カトラリーセット(マーガレット) 1895-1905年 ハンブルク工芸博物館◎アルビン・ミュラー カップ&ソーサー(ヴァイマル)とデザート皿 1908年頃 ヴュルテンベルク州立博物館、シュトゥットガルト

展覧会コミッショナーによる 記念パネルディスカッション
7月21日(土)午後2時~午後5時
「型紙を通して見えてきた世界と日本」
 馬河明子(日本女子大学教授)/高木陽子(文化学園大学教授)/長崎 巖(共立女子大学教授)/池田祐子(当館主任研究員)
 記念講演会
8月4日(土)午後2時~午後3時30分
「型染の歴史と京型紙」
 藤井健三(財団法人西陣織物館顧問)
 会場:京都国立近代美術館1階講演室 定員:100名
 (聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券を配布します)

●交通案内
 ●JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から
 市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
 ●JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から
 市バス100番(急行)銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ
 ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から
 市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
 ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から
 市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ
 ●市バス他系統「東山二条」または「京都都会館美術館前」下車徒歩約5分
 ●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
 ●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越し下さい。



展覧会ウェブサイト
<http://katagami.exhn.jp>
京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左区岡崎円勝寺町
 お問い合わせ:075-761-4111(代) テレホンサービス(展覧会のご案内):075-761-9900 <http://www.momak.go.jp>
 関西から
文化力
 POWER OF CULTURE